

令和5年度 通常総会を開催しました。

～新会長に島袋清人氏((株)沖電工)を選任～

(一社)沖縄県労働基準協会は、去る6月29日(木)、沖縄ハーバービューホテルにおいて、令和5年度通常総会を出席者94名、書面議決368名、委任状715名、総数1,174名のもと開催しました。

古波津会長のあいさつにより開会し、第1号議案から第5号議案まで審議が進められ、審議の結果、全て原案通り決議承認されました。

第1号議案の令和4年度事業報告、決算報告及び会計監査報告においては、講習会は157回開催し、受講者数は7,525人で前年度より259人の増加となったが、経常増減額はマイナスの367万円となったこと等が報告されました。第3号議案の令和5年度事業計画及び収支予算(案)においては、会員のニーズに沿った講習計画を策定し、キャンセル待ちが多い講習については、臨時講習を開催して対応すること。沖縄労働局及び各労働基準監督署等の連携をより一層密にして今年度から新たに展開される「沖縄労働局第14次労働災害防止計画」の目標でもある「労働災害の増加傾向に歯止めをかけ、減少に転じさせる。」の達成に努める等の説明がありました。



第5号議案の役員改選については、理事20名(内新任8名)、監事2名(内新任1名)について決議承認され、会長(代表理事)を5期10年間務めた古波津昇氏が退任されることとなりました。また、與儀盛輝那覇支部長、安富辰也北部支部長、上里明通宮古支部長及び豊里友彦監事も退任されることとなりました。



理事会において、会長(代表理事)、副会長及び専務理事が選任決議され、島袋清人氏が新会長(代表理事)に就任することとなり、就任あいさつがありました。また、前会長の古波津昇氏を理事会の顧問とすることも決議されました。

議案審議終了後は、沖縄労働局長及び沖縄労働局幹部並びに那覇、沖縄及び名護労働基準監督署長にご来賓いただき、西川昌登沖縄労働局長からご祝辞をいただきました。

その後、感謝状贈呈式が執り行われ、理事を5期10年以上務めて退任される古波津昇氏及び上里明通氏に対して、島袋新会長より感謝状が授与されました。また、古波津昇氏からは、会長退任のご挨拶がありました。なお、所用により欠席された與儀盛輝氏及び豊里友彦氏に対しても後日感謝状を授与いたしました。

総会終了後は、3年ぶりに交流会が開催され、多数の会員及び行政関係者等が参加され、交流を深めました。

会長挨拶

令和5年度、一般社団法人沖縄県労働基準協会の通常総会にご出席いただき、ありがとうございます。

また、労働基準協会の業務運営につきまして、日頃から格別のご理解、ご協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

本年の通常総会は、例年どおりの開催であります。議事終了後は、西川沖縄労働局長からご来賓挨拶をいただくこととしており、また、懇親会についても開催することとしております。

新型コロナウイルス感染症は、国内で初めて確認されてから3年が経過し、5月8日からは感染症法上の位置づけがインフルエンザと同じ5類感染症へと引き下げられ、社会経済活動の正常化に向けた動きが活発になってきており、県内経済も人手不足、資源・エネルギーの高騰等はあるものの、コロナ禍前に戻りつつあります。

沖縄県労働基準協会は、社団法人として昭和48年、1973年4月に法人認可され、公益法人改革に伴い平成24年、2012年に一般社団法人に移行しましたが、通算をしますと本年度で創立50周年となります。

この間、技能講習の修了者は約16万人、特別教育やその他の講習を含めると約20万人の方が労働基準協会の講習を受講修了しております。

またこの間、台風、コロナにより開催できなかった以外は、毎年、沖縄県産業安全衛生大会を開催してまいりました。

これも会員事業場の皆様、そして沖縄労働局をはじめ関係行政機関等のご理解、ご協力の賜物であり、改めて心から厚く感謝申し上げます。

私も、5期10年間、会長職を務めましたが、本総会をもって退任させていただくこととしております。

さて、沖縄県内の労働災害は、近年増加傾向にあり、昨年は新型コロナウイルス感染症を除いても過去最多を更新しております。

労働災害の増加傾向に歯止めをかけ、減少させるためには、本年度を初年度として新たに展開されている「沖縄労働局第14次労働災害防止計画」に基づき、各事業場が労使一体となって、自発的に安全衛生対策に取り組み、アウト

